

## 山行報告書

山行管理部

### 公開山行 天王山 7月28日

CL 早川、SL 田中、楠本、友田(桂)、参加 26 名(内一般 3 名)

阪急梅田 8:11 ~ 大山崎 8:49 ~ 宝積寺 9:25(トイレ・体操) ~ 天王山 10:15  
~ 分岐 10:50 ~ 11:50 柳谷観音(昼食・紹介) 12:35 ~ 14:15 小倉神社

梅雨明けの猛暑、とにかく暑い。宝積寺を過ぎてすぐ会員 A 氏、ただならぬ汗と体調不良で下山。柳谷観音では境内の休憩所を使わせていただけ、有難かった。帰路は分岐に戻った処で、無理は禁物と十方山ピストンを取りやめ小倉神社へ下山。SL 田中さん、楠本さん、友田さん。園さん、木村さん、そしてご参加の皆さん全員のご協力ありがとうございました。(早川 記)

### 教育部(スタッフ研修) ジャンダルム縦走 8月9日(金)~11日(日)

C L 高桑 S L 木村 参加者 3 名

8/9 06:30 森ノ宮→12:00 新穂高温泉駐車場→13:30 西穂口

→15:00 西穂山荘(歩行時間:90分)

8/10 4:00 出発→05:00 独標→06:20 西穂高岳→09:00 天狗岩→11:00 ジャンダルム→13:30 奥穂高岳→14:20 穂高岳山荘(歩行時間:620分)

8/11 4:15 出発→04:40 奥穂高岳→06:50 前穂高岳→10:00 岳沢

→11:50 上高地(歩行時間:450分)

8/9 盆休連休前日の金曜だったので京都など特に渋滞なく新穂高温泉まで予定時間通りに着く。無料駐車場はほぼ満車だが幸運にも駐車できた。ロープウェイも混雑なく山荘へ進む。小屋では布団 1 枚に一人と混雑もなかった。既に爆睡中の 20 時頃に雷鳴と雨で眼が覚める。24 時頃には雲の残る夜空でペルセウス流星観察をして流星 4 個(内 1 個は火球クラス)を観察する。

8/10 昨夜の雨か夜露で足元の濡れを気遣う。西穂までは結構登山者も多く感じるも、間ノ岳辺りで振返るとかなり減ったかなと感じるが雷鳥親子が応援してくれる。全体的には前後の視界に人影がなくなるような事はなくこのコースの人氣が伺える。何度も立ちはだかる難所もペンキの案内や踏跡で間違えることもなかった。又好天に恵まれ岩も乾いていたので不安感はなかったが振り返ると『ワオッ』と漏らし満足度が増していく。その中でも天狗の頭、ジャンダルム、馬の背はやっぱり印象に残った。

穂高山荘は西穂より混み合っていて当初布団 1 枚で 2 人と案内されたが隣の布団は空なので侵略して安眠した。山小屋に不慣れなものにはチョット難しいシステム

だった。25時頃に又ペルセウス流星を観察しようと屋外にでるもこの時間に煌々とランプを点けラーメンを作る輩がいて観測は台無しで3個観て小屋に戻る。

8/11 3日目も好天に恵まれ、予定の前穂への吊尾根に向かう。何ヶ所か鎖場など難所があったが奥穂からすぐの鎖場がこのコースの核心部と思う。吊尾根を縦走中に3人の姿が西穂高の山塊にシルエットで写されたり、河童橋から見られているのではないかと感激する。岳沢は緑が多く春とは様子が違うのでちょっとびっくり。3人は上高地から平湯へバス移動、そしてK師匠のみさらに新穂高温泉までバスで車を取りに行く。その間、2人は温泉に浸かり乍ら申し訳なく思う。

(高桑 記)

**ターブルドート 槇尾山** 8月18日 CL 稲田 SL 早川 参加17名  
歩行距離 6.4km、歩行時間(休憩含む)5時間20分

滝畑バス停(ルート説明、準備体操等)9:13出発⇒滝畑湖畔観光(トイレ)⇒ポテ峠⇒追分⇒施福寺(休憩・トイレ)⇒蔵岩⇒槇尾山(昼食)⇒桧原分岐⇒万願寺⇒施福寺観光センター14:33着 南海バス停「槇尾中学校前」にて解散

8月の山行で最高気温37度の予報もあり登坂全行程において水分補給の立ち休憩を15分毎に、5分程度の休憩を30分毎に実施しました。また事前の下見にて当日の天候と参加者の体調によるエスケープルートとその場合の帰りの交通手段を検討しておきましたが、槇尾山山頂にて早川SLと当日の天候や残りのルートを検討し滝畑ダムへ周回する当初計画のルートより万願寺へ下りるルートへの変更を決定しました。児玉部長より適切なアドバイスを頂きました。また岩佐副部長には下山時のエスケープルートのナビゲーションをして頂きました。結果としまして歩行時間の短縮が実現でき全員無事に下山出来ました。槇尾山は低山ではありますが役行者や弘法大師も修行した山でその雰囲気も味わって頂きたいとルート設計しましたがやはり真夏の登山は体調管理最優先と再認識させられました。

(稲田理 記)

**有志山行 鹿島槍～五竜岳～唐松岳 7月20～23日**

CL 乾 SL 岩佐、願野 (参加6名)

7/20(土) 新大阪 6:27(ひかり 506号) → 7:34 名古屋 8:00 しなの3号 →

9:53 塩尻 10:13 あずさ3号 → 11:01 信濃大町、タクシーにて扇沢 11:40

扇沢 12:00 → (柏原新道) → 15:45 種池小屋(泊)

7/21(日) 種池小屋 5:00 → 爺が岳 6:15 → 冷池小屋 7:35 → 鹿島槍 10:15

→ キレット小屋 13:00(泊)

7/22 (月) キレット小屋 4:45⇒五竜岳 9:30⇒五竜山荘 10:30⇒唐松小屋 14:30

7/23 (火) 唐松小屋 5:00⇒唐松岳ピストン 6:00 朝食⇒唐松小屋 7:00⇒八方池山荘  
10:00 八方池山荘→(リフト、ゴンドラ、バス乗り継いで)→白馬駅(昼食)  
白馬駅 14:37 あずさ 26号→15:58 塩尻 16:03 しなの 18号→18:05 名古屋  
名古屋 18:18 ひかり 521号→19:26 新大阪(解散)

一日目: 扇沢から歩きだしたときはカッパを着ていたがすぐに雨は上がった。樹林帯を抜けるとすばらしい展望が広がり、左手には針ノ木岳、蓮華岳、そして右手には八ヶ岳の連山、そして間からは富士山が…また、種池小屋の周りにはすばらしいお花畑が広がっていた。コバイケイソウ、チングルマ等々。そして小屋の前にはどっしりと剣岳とそれに続く立山連山など。

二日目: 今日からいよいよ岩場が始まるということで、気を引き締めて出発。爺ヶ岳の頂上では 360 度の展望が広がっていた。しかも先週登った雨飾山、飯綱山そしてその時には見ることでできなかった能登半島から佐渡ヶ島まで見渡すことができた。まだまだ見ていたかったが後ろ髪をひかれる思いで下山開始。冷池山荘から布引山とアップダウンを繰り返しながらも道端の花々や左右の山々に癒された。鹿島槍南峰でストックをしまい、ヘルメットをつけ出発。北峰までの吊り尾根とキレット小屋までの急な下りは緊張の連続だった。

三日目: 今日が一番の長丁場。9時過ぎから雨の予報。とにかく五竜山荘まで行きそこでもう一度考えようということで出発。ガレ場、鎖、やせ尾根の連続で声を掛け合いながら慎重に進んだ。五竜岳の頂上では少しガスっていたものの、まだまだ大丈夫。五竜山荘に着き、うどんなどで腹ごしらえをして唐松小屋へ向かう。雨が降り出し、一番長く感じられた。唐松小屋が霧の中から見えた時にはほっとした。

四日目: 朝食前に唐松岳に登り、八方池まで下山。たくさん花々に癒された。4日間を通して交替で先頭に立って下さったCL、SLの方々による細やかな声掛けのおかげで事故もなく無事山行を終えることができました。また、周りの山々、たくさん花(70種あまりの)、そして岩を堪能することができた4日間でした。

(堺 記)

有志山行 燕岳～常念岳 7月25日～28日

CL 木村(佐) SL 上坂、島田、宮田 参加者 12名

7月25日 森ノ宮 7:45 出発⇒バス⇒有明荘 14:30 着(泊)

コースタイム

7月26日 有明荘 6:45⇒6:50 登山口 7:10～第2ベンチ 8:30～第3ベンチ 9:20～  
富士見ベンチ 10:10～10:55 合戦小屋 11:30～12:55 燕山荘 13:45～燕

岳～燕山荘 15:30 (泊)

7月27日 燕山荘 5:00～蛙岩 5:40～大下りの頭 6:05～喜作レリーフ 8:10～8:57  
大天荘 9:20～東天井岳 11:50～13:00 常念小屋 14:00～山頂 15:30～小  
屋 16:30 (泊)

7月28日 常念小屋 5:00～常念岳中腹～7:00 朝食, 出発 7:45～胸突き八丁 9:10  
～王滝ベンチ 11:05～一ノ沢登山口 12:22⇒バス⇒12:50 入浴、食事  
14:30 出発⇒バス⇒森ノ宮 20:05 着 解散

\* 夏山山行に向けて4月から6月の公開山行に参加してメンバーの親睦を図り、  
体力強化の為、2回歩荷をしました。

本番初日は三大急登の合戦尾根を登り、二日目は燕山荘から常念小屋までの縦  
走、最終日は石がゴロゴロした沢沿いを渡渉や丸太橋渡りを繰り返して下山。胸  
突き八丁の大きな雪渓に圧倒され、山の魅力がいっぱい詰まった山行でした。  
(猪瀬 記)

## 有志山行 中央アルプス 越百山から空木岳縦走 7月29日～8月1日

L 乾、他4名

7/29(月) 7:00 大阪駅前→車→12:30 あてら壮 13:00→シャトルバス  
→あてら溪谷散策→15:40 シャトルバス→あてら壮 泊

7/30(火) 宿 7:40→車→8:15 伊那川ダム手前 1km もみじ荘前路肩駐車 8:25  
…9:05 伊那川ダム駐車場…10:00 福栃平…11:00 下のコル  
…11:25 上のコル…昼食…13:10 水場…14:30 越百小屋 泊

伊奈川林道はダムから先が車両通行止めになっている為、ダム 1 km 手前車  
を止め歩き始める。林道の数か所で道路が崩れていたが歩くのには問題なか  
った。

7/31(水) 小屋 5:30…6:25 越百山…8:15 仙涯嶺…9:50 南駒が岳…10:45 赤柳岳  
…12:10 空木岳…13:45 木曾殿山荘 泊

ガスっている中、越百山に向けて出発。越百山を超えたあたりから視界も  
良くなり、雲海に浮かぶ南アルプスの全容と富士山を見ることが出来た。仙  
涯嶺、南駒が岳へのルートはハイ松で道が隠されていたり、ザレ場あり、ま  
た岩場に付けられた目印は、とても少なかった。基本尾根歩きだが、少しル  
ートを外してしまうと危ない箇所がいっぱいだ。尾根の西側は風がとても冷  
たく、東側に回り込むと日差しが暑い。南駒が岳手前の東斜面でやっとお花  
畑が出てきて、クロユリも見頃だった。空木岳手前の登り斜面からは、駒ウ  
スユキソウがいっぱい。南駒ヶ岳からは徐々に目印が多くなり、空木岳から

は岩の上に、赤い矢印が頻繁に付けられていた。

**8/1(木)** 小屋 5:30…6:52 八合目…7:50 仙人の泉…8:25 北沢吊橋

…9:40 うさぎ平…10:10 金沢土場…11:30 伊那川ダム P

…12:00 もみじ荘前→あてら壮入浴→帰阪

宿の主人が食事時に各コースについてざっと説明してくれた。吊り橋は渡れないと言っていたが、北沢吊り橋の事だったのか？そのまま渡ったが良かった？このあたりの渓谷は、あてら渓谷同様にとても透き通った水の色で美しいが、流れる水の量、速さはすごいし、巨岩が川の中にごろごろしていた。3日間を通して、夕立の可能性があったので、早めの時間に宿に到着出来た事は良かったと思いました。  
(願野 記)

**有志山行**                      **白山**                      **8月1～3日**                      L横山                      参加2名

8/1(木) 大阪駅 JR バスターミナル 22:20→

8/2(金) 金沢駅 5:40 着、6:00 発→別当出合 8:20

別当出合 9:00→中飯場 10:30→別当視 11:25→甚之助避難小屋 12:50→  
エコーライン分岐 13:20→室堂ビジターセンター15:45(泊)

8/3(土) 室堂周辺散策 5:20→室堂ビジターセンター6:50→黒ボコ岩 7:20→

甚之助避難小屋 8:25→別当視 9:25→中飯場 10:30→別当出合 11:20

別当出合 12:30→金沢駅東口 15:00 着、18:00 発→大阪駅 23:00

8/2の登りは、私が高山病になりやすいため、ゆっくりペースで登りました。当初の予定では南竜道分岐から黒ボコ岩のルートを行く予定でしたが、エコーラインの方も花が素晴らしいと聞き、ルートを変更しました。このルートはコバイケイソウとニッコウキスゲが満開でした。8/3は帰りのバスの12:30に間に合わないといけなかったのでお池めぐりは諦め、お池めぐりルートの一部を1時間ほど散策しました。ここではクロユリも満開でした。小屋のスタッフによると、今年はコバイケイソウの当たり年だそうです。下りもお花が見事でした。お天気に恵まれ、お花に恵まれ満足の山行でした。  
(横山 記)

**有志山行**                      **梅池～白馬岳(往復)**                      **8月1～3日**                      L三嶋                      参加2名

(8/1) JR 大阪駅 6:30 ⇒ 9:13 金沢駅 9:21 ⇒ 10:11 糸魚川駅 10:30

⇒ 11:34 南小谷駅 11:55 ⇒ 12:19 梅池高原 ⇒ 梅池ヒュッテ (泊)

(8/2) 梅池ヒュッテ 5:00 発 ～ 7:00 天狗原分岐～ 8:40 白馬大池山荘

～ 11:15 小蓮華山 ～ 13:30 白馬岳～ 14:00 白馬山荘 (泊)

(8/3) 白馬山荘 4:45 発 ～ 5:00 白馬岳 ～ 6:37 小蓮華山 ～ 8:20 白馬大池山荘

～ 10:40 天狗原分岐 ～ 12:05 梅池自然園

⇒ 梅池高原 13:46 ⇒ 14:08 南小谷駅 14:43 ⇒ 15:45 糸魚川駅 16:30

⇒ 17:20 金沢駅 17:31 ⇒ 20:09 JR 大阪駅

1年半前、酒の席で山の経験が全くない義理の甥から「富士山に行きたい」との要望があり、昨年の5月から1～2ヶ月に1回、六甲や比良をメインに9回程日帰り山行を重ねてきた。その間私の好みにより、ガイドブックの写真等を甥に見せることにより、目標の山を「富士山から白馬岳へ」変更して貰う。私自身行ってみたかった山であり、半ばごり押しであった。

天狗原は急登の上に広がる台地であり、翌日稜線上から見た時には、湿原の中を数本の木道が延びる姿に、白山における弥陀ヶ原を思い出した。白馬大池から船越の頭、小蓮華山への登山道は、ガスのため展望が全く効かない。三国境からは雪倉岳・朝日岳への道が右に枝分かれしている。ここからまっすぐ頂上への最後の登りに取りかかる。決して急登ではないが体力が続かず、へトへト・ヨレヨレになって白馬山頂を踏む。相変わらず視界は殆どなく、早々に白馬山荘へ下る。

夜中の雷鳴・豪雨を経て、翌日は打って変わって紺碧の空。ようやく納得の景色を堪能する。天を突き刺す三角形の剣岳、さらに縦走路の一番奥に鹿島槍ヶ岳の双耳峰、どちらの山も登ったことはないが、位置関係が頭の中の地図上にセットされる。半月前の山行では、その容姿が全く分からなかった雨飾山、その横に火打山・妙高山の峰々が続くのが、はっきりと確認できる。前日の苦しさとは裏腹に、稜線散歩を存分に楽しみ梅池ヒュッテ前に着く。

今回初日の工程は、本によれば「歩行距離 7 時間」となっていたが、甥と自分にとってはかなり無理があり、結局休憩を含め 9 時間かかってしまった。「初級コース」と侮って、対象年齢との誤差等を十分把握しきれていなかったと思う。

(三嶋 記)

**有志山行 北岳、間ノ岳 8月5日～8日 参加者5名**

CL 五十嵐 SL 木村 (佐)

8月5日 新大阪 7:16—名古屋—塩尻—12:16 甲府 14:05⇒15:18 広河原  
広河原山荘泊

コースタイム

8月6日 広河原山荘 5:25～白根御池小屋分岐 5:55～9:10 大樺沢二俣 9:25～  
13:35 八本歯のコル 13:50～北岳山荘 15:30 泊

8月7日 北岳山荘 5:40～6:35 中白根山～8:17 間ノ岳 8:45

～10:37 北岳山荘 11:30～吊り尾根分岐 13:00～13:42 北岳山頂 14:20～

14:58 肩の小屋 泊

8月8日 肩の小屋 4:50~5:20 小太郎尾根分岐 5:35~5:50 右股コース分岐 6:00  
~7:40 大樺沢二俣 8:00~広河原山荘 10:45

広河原 11:00⇒12:00 芦安温泉 14:00⇒甲府 14:50

甲府 16:27—塩尻一名古屋—新大阪 21:13 解散

\* 広河原山荘から大樺沢二俣までは高山植物を楽しみながらゆっくりと進みました。そこから左股コースに入り雪渓に沿って八本歯のコルに着くまでの登りは想像以上にきつく険しい岩の連続でした。やっとバットレスの岸壁が迫ってくる梯子階段にたどり着いた時には、その迫力に息をのみ、暫くは疲れを忘れて岸壁を見入ってしまいました。

一日目、二日目の午後は雨、雹、雷に会い全身びしょ濡れで小屋に着き最悪でしたが、間ノ岳で見たどっしりとした富士山、肩の小屋から見た夕日や朝日に染まる富士山、そして小太郎尾根から見た雲海に浮ぶ富士山、どれも美しく感動しました！ 下山途中、大樺沢二俣から上を見上げた時、長く険しい岩だらけの急登をよく登れたなあーと、暫く感慨に浸りました。

色々な困難もありましたが、全員無事に下山でき感謝です。

(猪瀬 記)

有志山行 雲ノ平ほか 8月5日~10日 L 森野 参加2名

5日 大阪(電車)→富山 駅付近で前泊

6日 富山 5:30(バス)→折立 7:50(出発)→太郎平小屋 12:25(泊)

7日 太郎平小屋 4:55→薬師沢出会→雲ノ平山荘 12:20(泊)

8日 雲ノ平山荘 5:50→祖父岳→ワリモ岳→鷲羽岳→三俣山荘 13:50(泊)

9日 三俣山荘 5:40→三俣蓮華岳→双六岳→鏡平山荘 14:15(泊)

10日 鏡平山荘 6:00→新穂高温泉 11:50(バス)→高山(電車)→大阪 19:50 着

幸運にもずっと晴天に恵まれ、全方位に広がる北アルプスの眺望、咲き乱れる高山植物、朝焼け、夕焼け、満点の星空、他のハイカーとの出会いと語りなどを楽しみました。こまめに読図することで道迷いもなく、登りの人が多くて時間が掛かった鏡平からの下りを除き、全行程をほぼコースタイムで歩き、無事に下山しました。ありがとうございました。

(元 記)